

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

10
2016
OCTOBER

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



2016 北海道東北ブロック支部長・ 地区会長交流会

「第21期経営指針をつくる会」修了
覚悟と熱意を持って経営指針を実践していこう

第13回経営研究集会 基調講演・各分科会のおしらせ

山形同友会！
未来へ向けて、
新たに！！
より地域に
必要な存在へ

2016年度スローガン

2016北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会



8月30～31日、岩手県盛岡市ホテルメトロポリタン盛岡に於いて、2016北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会が開催され、山形同友会からは6名が参加しました。

この交流会は、「北海道東北の7道県同友会の支部長・地区会長が、魅力ある支部づくりと地域づくりのために交流し学びあい、これからの同友会活動や企業づくり等について学び合い、ヒントやエネルギーを持ち帰る」を開催目的

に毎年行われています。

初日は「支部づくり・問題提起①」として、「支部役員は社員とともに経営指針の実践を」を伝え続けて～年代を超えて一人ひとりが活躍する支部づくり～をテーマに、宮城同友会泉支部前支部長(株)BWM伊藤社長が報告。その後「支部づくり・問題提起②」として「会員増強“日本一”の“いわき”から元気発信！～地域からあてにされる経済団体を目指して～」のテーマに、福島同友会いわき地区会長の渡辺エコサービス(株)渡辺社長が報告しました。その後グループ討論、夕食交流会と進みました。

二日目は、記念講演として北海道下川町長 谷一之氏より、「条例とエネルギーシフトで再生可能な地域づくり」と題し講演。その後の全体会議が行われ閉会となりました。

参加された方々より報告が届きましたので、ご紹介いたします。

(株)山形ビッグファーム 阿部秀顕氏(山形支部長)

支部長として、久しぶりに山形同友会外の学びに参加してきました。例会もさることながら、全国や地区の交流会に出ることの大切さを改めて実感することとなりました。宮城の泉前支部長 伊藤氏の報告では、支部の課題を明確にし、支部長としての覚悟を決めるのに同友会の全国大会へ、全力で参加した記録が紹介されました。支部の課題としては、「役員不足・何のための増強か・運営屋になっていないか・メンバーが固定化していないか・グループ討論が活かされていない・小規模企業経営者の居場所がない・新会員へのフォローがない・指針しかないのか」などがあげられました。このすべてが揃うと負のスパイラルに陥り、会が良くならない。我が山形支部でも同じような課題に直面しているようで、非常に共感を覚えました。まずは、「増」として同友会の学びで変わったことを明確に表現するこ

と。経営指針の実践を通して、会員企業が良くなることと言います。実態としては、宮城でも修了生の実践がうまくいっていない、更新しない例が多いそうです。山形ではどうでしょうか？同期や役員同士でチェックできるような仕組みづくりをしていくのもよい方法かと思います。同友会でよくなる企業が増えれば、同友会のブランド価値が上がり、入会したいという企業が増えると思います。また、「強」としてつながることに重きをおいた支部づくりをしたそうです。昼食会やシニアクラブ、ミニ例会など参加しやすいところでそれぞれの経営課題に気づいてもらう。課題解決のヒントは同友会の仲間と同じ課題に悩む人、経験した人がたくさんいるので解決の糸口になれる。まさに「同友会を使いきれ！」であると思い、これをヒントに山形支部活動につなげていきたいと思います。

社会保険労務士法人ルート企画 菊地仁士氏(さくらんぼ支部副支部長)

8月30日、観測史上初の東北地方太平洋側に直接上陸した台風10号がまさに近づいている中、盛岡で開催された北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会に参加して参りました。私自身、同友会入会後初めての県外行事への参加となります。仕事の都合上、2日間の日程のうち初日の前半部分である「支部づくり・問題提起①②」のみの参加となりましたが、それでも私自身としても勉強になるものでした。

いかにして会員増強が成功したのか。宮城同友会泉支部伊藤前支部長、福島同友会いわき地区渡辺会長のお二人の実践報告でしたが、共通する内容のひとつに、会員やゲストが参加しやすい雰囲気づくりを様々な工夫してこられたこと

が挙げられると思います。その後のグループ討論でも、各支部のやり方や考え方、課題等は地域や規模によって様々でしたが、やはり例会はいつも同じ顔ぶれ、なかなか新しい会員が増えないなど悩みは共通するものでした。我がさくらんぼ支部も、月一回の例会のみではなく、もっと人と人の繋がりができる機会を増やすなど、より多くの方々に同友会の良い所、さくらんぼ支部の明るい雰囲気を知ってもらえるきっかけづくりなどを考えていきたいと思っています。僅かな時間ではありましたがとても有意義な時間でした。ありがとうございました。

「第21期経営指針をつくる会」修了

覚悟と熱意を持って経営指針を実践していこう



8月20日、第21期経営指針をつくる会の「発表会」が、寒河江市のホテルシンフォニーで行われました。発表会には、作成したばかりの経営指針書を手に参加した8名の受講生と半年間かかわってきた修了生が駆けつけ、総勢30名が集いました。

作成してからがスタート

第21期経営指針をつくる会は3月19日に開講し、毎月1回5講が開かれました。今期の特徴としては人口減少、市場の縮小が予測される中で、現状認識に重点を置いたことと、10年ビジョンの作成と組織づくりの講座を組み入れたことが特徴として挙げられます。

冒頭、菊池経営指針委員長は「7年前に経営指針書を作成し社長になった。改善と試行錯誤しながら歩んできた。考え方をしっかり伝えることが大切で、そこには社長の覚悟と熱意が必要です。私は経営指針書の作成によって一本の軸を持ち、行動までブレイクダウンさせてきた。毎年、この経営指針をつくる会にかかわりながら自社の経営指針書を更新してきたことで、会社が変わってきた。作成してからが本当のスタートです。発表にあたっては皆さんの熱意を参加者に伝えてください」と自らの体験を交えて挨拶しました。

自問自答を繰り返して

今期の受講生は8名中7名が後継者です。「経営の目的を明らかにすること」「経営者の責任」と同時に「何を

引き継ぎ、何を変えていくのか」が問われました。はじめは質問の意味が理解できずに、悶々とした日々を過ごした方もいましたが、毎月の講座後には修了生の協力のもと補講も行われ、会社と自分と向き合い、自問自答を繰り返す中で徐々に気づき、変わっていきました。受講生ひとり一人が、会社の未来を詰め込んだ経営指針書を発表すると、半年間かかわってきた修了生から大きな拍手が寄せられました。



「何のために」を追求しよう

最後に挨拶に立った菅原代表理事は「私が経営指針づくりで得たものは①同期・修了生の仲間との本質議論②凝り固まった価値観から多面的な見方③経営者の覚悟です。「何のために」を追求していくには覚悟がいる。全国的に企業が減っています。何のためにやるのかを話すことができない経営者では雇用ができない。これから一緒に同友会の活動を通して、みんなで学びながら磨いて深めていこう」と述べました。



第13回経営研究集会 基調講演・各分科会のおしらせ

2016年11月22日(火) 13:30~20:45 会場:ホテルメトロポリタン山形 山形市香澄町1丁目1-1

基調講演 13:45~15:25

感動のオンリーワン企業を目指して! ~人の心に届くサービスで足元に笑顔を届ける~

講師:徳武産業(株) 代表取締役会長 十河孝男氏(香川同友会)

手袋の縫製から学童用シューズ、そしてルームシューズや旅行用スリッパの企画製造へと時代の波を乗り越えてきた。ある日、「お年寄りが転ばないような靴をつくってくれないか」との依頼を受けた十河氏は老人施設を回り、500人以上の高齢者から生の声を聞いた。そして、自社ブランドの介護シューズの開発に挑戦。さらに靴業界では非常識といわれた左右別々のサイズや仕様違いの靴の組み合わせ、片方のみ販売するビジネスモデルを確立します。「徳武の考え方は『損得』ではなく『善悪』。大切なのは人の心に届くサービス」と語る十河氏の「人を生かし地域の未来を創る」経営に学び合います。



分科会 15:35~19:00

第1分科会(経営指針・社員教育・共同求人での企業づくり)

共に育つを根幹とした経営と組織づくり

報告者: (株)木村工業 代表取締役 木村晃一氏(東京同友会・経営労働委員長)

事業承継時に訪れた倒産の危機。木村社長は社屋を売却してその危機を乗り越えます。当時3Kと言われる業務、荒れた社員と荒れた組織風土、中度採用が定着しない組織を経営指針書で理念・方針を明確にし、社員教育に注力しながら新卒採用を始めていきます。「共に育つ」を根幹とし、共に活き、共に発展していく企業を目指し、様々な仕組みを取り入れた経営、組織運営の実践報告です。



第2分科会(エネルギーシフト)

エネルギーシフトで仕事づくり!

報告者: 東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 教授 三浦秀一氏

エネルギーシフト、それは単にエネルギーを見直し変えるだけで無く、地域(地域経済)の可能性を見つめ直す絶好の機会と考えています。震災以降に急速に進む再生可能エネルギーやコージェネレーションの普及で、エネルギーは「買う」から「作れる」へ、主体的に取り組む事が出来る産業に変化してきました。今捨てている物や足元にあって見過ごしてしまっている物が、見方を変えることやお互いに連携することで新たな産業の創造へ広がる可能性を秘めています。地域の可能性、そして私たち中小企業の可能性をエネルギーという側面から皆さんと学んでいきたいと思います。



第3分科会(IT活用) 一般社団法人山形県情報産業協会協力

IT活用を上手になりましょう!~中小企業向けIT活用促進事例~

報告者: 一般社団法人千葉IT経営センター 代表理事 野村真実氏(ITコーディネータ)

利益を出し続けるために会社には何が必要なのか?攻めのIT経営を実現する仕組みづくりについて、経済産業省「IT経営力大賞」受賞企業で実際に行われた「攻めのIT投資」の事例をご紹介します。

・駐輪場管理のIT化でV字回復を実現 ・地方企業の全国進出を支えたクラウド導入 ・14年連続2ケタ成長を支えているITの仕組み ・売れ筋商品分析による脅威の通販リピート率など。また、安価で出来るクラウド+モバイル活用の事例も紹介いたします。最後にIT投資に必要な資金は、自己資金や融資以外に補助金・助成金を利用するという選択肢もあります。ITに関わる補助金・助成金情報と活用例を紹介いたします。



懇親会 19:10~20:45

※お申し込みはe.doyuもしくは申込チラシにてお願いいたします。

10月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

価値観の成長が行動を変える ～労使関係から人間関係へ～

2016.10.25(火) 18:30～21:00

場所：遊学館 研修室

山形市緑町1丁目2-36 ☎023-625-6411

報告者：(株)浅倉工業 代表取締役 浅倉啓一氏

同友会に入会後、経営指針書を作成し実践するものの結果が出ない。経営方針がなぜ伝わらないのか。ジレンマを抱えながら社員共育委員会で学び続けます。今年、姉の死に直面し、仕事に対する情熱・生き様から自らの価値観が変わっていきました。さらに、ベテラン社員の突然の退職によって経営者の責任とは何かを改めて突きつけられます。そして今、社員との人間関係、信頼関係の構築に取り組む浅倉社長の報告です。

●グループ討論テーマ

経営者にマイナス情報が集まりますか？それにどう対応しますか？

マイナス情報(会社にとってはあまり良くない事：ミス・ロス・クレーム等)

寒河江支部

決めたことをやらない会社からの脱却 ～みんなで幸せになれる会社をめざし、個別対応から組織対応へ～

2016.10.26(水) 19:00～21:00

場所：寒河江市技術交流プラザ 2F

寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者：(有)笹木製作所 代表取締役 笹木浩二氏

メーカーの製造部門の海外移転が進んで売上がダウンする中、現場リーダーの社員が退職し、さらに次のリーダーも退職。この繰り返しに悩んでいた時に同友会に入会。社員共育委員会で学び、社員ではなく自分に問題があったことに気づきます。二年前に経営指針書を作成し実践に取り組む過程で、社員さんの労働環境が悪化し問題が起こります。仕組みづくりの必要性を痛感した笹木氏は試行錯誤しながらPDCAを回しながら課題の解決に取り組みます。不良品・残業時間などが大幅に改善され、利益もあがってきた矢先、ある仕事の受注がきっかけでまた社員との問題が発生します。「みんなで幸せになれる会社」をめざして、個人ではなく社員全員で取り組める組織づくりにチャレンジする、笹木氏の実践報告をもとに学び合います。

さくらんぼ支部

人材育成のための社員評価制度の構築 ～学びを即実践するから見えることがある～

2016.10.14(金) 18:30～

場所：東根市民体育館 2階 研修室

東根市東根乙1119-1 ☎0237-42-2311

報告者：(株)朝日測量設計事務所 代表取締役 小林敏郎氏

平成23年に同友会入会。すぐ社員共育委員会に所属し、月1回の委員会での学習会、新入社員・幹部社員研修の企画運営を通じて、多くの学びの機会を得ることができた。二年前の幹部社員研修で「企業変革支援プログラム」を活用して会社の成熟度を向上している実践報告から、「よい経営者」をめざして学ぶことに満足している自分に気づき、具体的な活動に展開し実践する必要性を強く感じた。そして全社員対象に経営成熟度診断を実施します。すると「人を生かす経営の実践」の項目が低いという結果に。ショックを受けた小林氏は経営理念達成に向け、まず社員が前向きに取り組む環境をつくらうと考え、3年改善計画を立案。継続的に社員を育成する仕組みづくりに取り組んできた小林社長の経営実践に学び合います。

置賜支部

同友会での学びを活かし真の全社一丸体制へ挑む

2016.10.24(月)18:30～

場所：アクティー米沢

米沢市西大通1-5-5 ☎0238-21-5655

報告者：(株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏

2000年に3名で創業。率先垂範のトップダウン経営で社員と一緒に汗を流し会社を伸ばしてきた。しかし、社員数が増えると一体感が失われていった。組織づくりと人材育成の必要性を感じていた時に同友会に入会。例会ではグループ長の役割、支部幹事会では議案のつくり方や議事録の大切さを学び、会社の会議に持ち込んだ。そして、経営指針作成セミナーでは経営姿勢を問われ、思った通りに動く社員を求めていたことに気づきます。そこから社員と「あるべき姿」を話し合い、毎年経営指針書を更新し、全社一丸体制をめざして計画的に取り組む中で社員と会社が成長。市場縮小の時代、社員と現状認識を一致させ、価値あるお役立ちを追求する菅原社長の経営実践に学び合います。

庄内支部

企業の成長は社員と共に ～良い企業の組織づくり～

2016.10.27(水) 18:30～

場所：庄内産業振興センター

鶴岡市末広町3-1 ☎0235-23-2200

講師：(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山 享氏
(税理士)

皆さまお待たせいたしました、庄内支部3年ぶりとなる奥山享先生のご登場です。あなたの会社には、本当に親身になって尽くしてくれる社員はいますか？社長の思いや考えを、社員と共有できていますと断言できますか？10月例会は(有)奥山経営センター代表取締役奥山享氏からの、幹部や社員と一緒に学べる講義になります。普通の社員教育セミナーでない、一緒に経営を考える貴重な時間となる内容となっております。講義後は経営者と社員と一緒にグループ討論をして、社員と一体感のある会社、社員の力を発揮できる会社につなげ、よい組織づくりを実践しましょう。社員や幹部の参加大歓迎です。

新庄最上支部

あなたの夢応援します ～「夢創造夢実現応援業」これまでとこれから～

2016.10.17(月)18:30～

場所：新庄信用金庫文化ホール レキシントン

新庄市本町2-9 ☎0233-22-4222

報告者：(株)さくら野コーポレーション 代表取締役 高橋進一氏

新庄での経験を活かし、東根で不動産業を始めた高橋社長。忙しく働く日々の中で、同友会に出会います。例会で初めて聴いた報告は、高橋社長の仕事感や人生観を文字通り一変させるものだったといえます。様々な紆余曲折も経験しながらも、例会での学びやいろいろな方のアドバイスを心得、自らの事業を「夢創造夢実現応援業」と位置づけます。不動産を通じ多くの人の夢を実現することが自らの使命であると語る高橋社長の報告に、夢を持つことの大切さや夢の実現が私たちの生活、そして地域にどのような変化をもたらすのかを考え合います。ぜひ皆様お誘い合わせの上お越しください。

第5回理事会報告

◆日時:2016年9月14日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形ビッグウイング ◆議長:越前屋副代表理事
◆出席者(敬称略):(敬称略):川合勝芳、西塔秀幸、越前屋忍、阿部和人、小林敏郎、玉津弘之、阿部秀昭、阿部敦、
工藤規行、赤塚治美、齊加義三、小川大輔、斎藤源、事務局矢作聖子、高橋徹、後藤駿

開会に先立って、9月7日に永眠された及川忠幸氏に黙とうしました。

■開会挨拶(西塔代表理事)

西塔代表理事が「役員研修会、北海道・東北ブロックの支部長・地区長交流会から役員のリーダーシップが重要であることを学びました。皆さんも山形同友会のリーダーです。皆さんは増強の必要性が分かっていると思う。分かっている人から動いていきましょう」と述べました。

■経営体験報告

●報告:齊加商店 代表 齊加義三氏(2010年入会) ●座長:阿部秀顕氏

*次回報告者

10月:武内賢二氏 11月:阿部 敦氏

■報告事項

1)北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会8/30~31岩手 6名出席
リーダーシップ、リーダーによって決まるというのを痛切に感じました。北海道の守さんのまとめから「今までやってきたが、これでいいのかという問いかけをしなければならないのではないかと」役員として会員を大事にするだけではなく、サポートする事務局との関係をどうつなぐか。事務局の体制をどう強化するかも大事「北海道は環境が厳しい、困った地域ほど会員が増えた。

厳しくなればなるほど、中小企業の経営者は誰にも本当のことは言いません。「あなただけでない」と呼びかけ、学びと交流を通して明日への経営をもたらす同友会でなければならぬ。困った経営者に安心感を与え、気が付いたら会員が増えている」と紹介し、これを参考にして活動をお願いしたいと報告しました。(西塔代表理事)

2)中同協女性部連絡会 9/6東京

同友会における女性部の役割についての報告と討論がありました。各地の女性部は大変盛り上がりしている。ただ位置づけがそれぞれ違い、活動内容も千差万別でした。女性部の活動をしっかりと広報し、増と強の部分での結果を出している事例もありました。山形同友会の女性部は部会長、副部会長がいますが、会員として組織していません。今後、組織化の件と女性部での学びをしっかりと打ち出していこうと思えました。(赤塚理事)

3)中同協経営労働委員会 9/8~9東京 2名参加

1日目はブラック企業の現状と具体例として同友会がめざす「社員はパートナー」という考えからは真逆な話が出ていました。グループ討論では大企業で味わえない中小企業の良さを新卒者が理解する取り組みの必要性が出された。2日目は経営指針の作成と実践について意見交換をした。各県でも経営指針作成後の実践のチェック体制がなく、測ることが出来ない課題があった。新しい経営指針作成の手引きは、理念と方針の間に10年ビジョンと労働環境の整備がある。経営指針・社員共育・共同求人委員会で連携を深め、企業変革支援プログラム等も使いながらセミナーや勉強会をする必要性を改めて感じた。(小川理事)

4)中同協社員教育委員会・共同求人委員会合同会議9/8~9東京 2名参加

山形の課題解決型研修を取り入れた、取り入れたという報告があり、非常に嬉しかった。会員が千名を超えるのに毎月の委員会は3人しか来ない、新入社員の研修を半年間120時間かけている同友会もありましたが、結局は何かが違う。素晴らしいカリキュラムを1年間組んでも、何かが違う。研修の回数を減らしても委員会のメンバーが学ぶ時間を作ろうという話をした同友会もあった。これからは磨きをかけてやっていきたい。(阿部理事)
広島同友会の事例などから、合説の学生参加者の減少については根の部分を考えることが大事と感じた。広島は3年先を目標に長期的な運動にすること、事務局任せにしない、みんなで力を合わせてやろうと申し合わせて始めた。グループ討論では同友会らしい共同求人・社員共育のあり方として、地道な同友会運動の定着と中小企業が働く魅力を学校や父兄に伝えて若者を育てられる企業になること。高齢者・女性の活躍できる場づくりが大切と感じました。2日目は共同求人委員会では青少年の雇用促進法についてが主でした。しっかり準備しないと新卒は取れない。同友会での学習会が提起され、安心して働ける環境づくりの必要を強く感じてきた。(玉津理事)

5)緊急時の体制について(中間報告)

地震や災害時の体制は西塔代表理事が委員長で、副委員長が菅原代表理事、後藤副代表、越前屋副代表の順番となる。連絡網は各支部で支部長を中心に連絡体制をつくる。義援金を出す時は、まず理事会を開く。理事会に参加できない場合は、FAXやe.douyで意見を聞き決める形にすると中間報告をし、これから文言にして改めて理事会に諮ると説明しました。(西塔代表理事)

6)ネット会議について

中同協情報推進本部が導入を進めているシステムを10月から試験的に活用(3ヶ月無料)しながら検討していくと報告がありました。(西塔代表理事)

7)2016年度8月度月次決算報告 (矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 2名入会 4名退会 9/14現在428名

■討議事項

議題1:理事の経営体験報告について

西塔代表理事より10月から現在の経営課題を報告とすることが提案され、今年度はその方向で報告することが決まりました。

議題2:新春交流会について

工藤理事より開催要項が提案され決まりました。

●日時:2017年1月27日(金)

●会場:東京第一ホテル鶴岡

●記念講演講師:井上農場 代表 井上馨氏

議題3:組織委員会より

阿部(秀)理事が「同友会活動を周知するために作成しているパンフレットを強としてどう使っていくかを各支部でも考えて頂きたい」「準会員制度の検討」の2点が提案され、継続して審議していくことになりました。

議題4:第13回経営研究集会について

斎藤理事が開催要項(案)、タイムスケジュール(案)、予算(案)を提案し、承認されました。

開催要項

●日時 2016年11月22日(火)午後1時30分~午後8時45分

●会場 ホテルメトロポリタン山形 山形市番町1-1-1 電話023-628-1104

●会費 参加費 2000円 懇親会費 6000円 ●規模 250名

開催目的

- ①時代の変化を捉え、社員と共に新たな市場への挑戦を実践している企業に学び、新しい仕事づくりについて考える機会とします。
- ②技術革新やエネルギーシフトなど、急速に進む環境変化における最先端の情報に触れ、変化をいかに捉えて自社にどう活かすか検討します。
- ③同友会型経営について学びを深め、三位一体(経営指針・社員共育・共同求人)の取り組みを学び、同友会活動を内外にアピールします。

スローガン

「今の事業であと何年やっていきますか?みんなで挑もう!新しい仕事づくり」

企画内容

第1部 基調講演(13:30~15:25)

講師:徳武産業(株) 代表取締役会長 十河孝男氏(香川同友会)

テーマ:感動のオンリーワン企業を目指して!~人の心に届くサービスで足元に笑顔を届ける~

第2部 分科会(15:35~19:00)

第1分科会(経営指針・社員教育・共同求人での企業づくり)

報告者:(株)木村工業 代表取締役 木村晃一氏(東京同友会・経営労働委員長)

第2分科会(エネルギーシフト)

報告者:東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科教授 三浦秀一氏

第3分科会(IT活用) 山形県情報産業協会担当

報告者:一般社団法人千葉IT経営センター 代表理事 野村真実氏(ITコーディネーター)

第3部 懇親会(19:10~20:45)

■その他

1)地域活性化委員会より

越前屋理事が条例制定運動に取り組むにあたって愛媛県松山市と東温市で実施した実態調査から山形でも会員企業に調査を行いたいと提案がありました。目的と効果がまだ明確でないことから再度検討の上、提案していただくことになりました。

2)今後の行事予定

第4回回青年経営者全国交流会	9月15日(木)~16日(金)	石川県金沢市	菅原代表理事・高橋事務局次長出席
幹部社員研修 第2講	9月21日(水)18:00	山形ビッグウイング	東京同友会参加予定
新入社員フォローアップ研修	10月17日(月)9:00	山形県産物産センター	
合同企業説明会	10月18日(火)11:00	山形テルサ	
北海道東北ブロック事務局長会議	10月21日(金)~22日(土)	函館	矢作事務局長出席
中同協 政策委員会、理事・条例推進本部合同会議	11月9日(水)~10日(木)	東京	西塔代表理事出席
中同協 第2回幹事会	11月11日(金)	東京	
第5回人を生かす経営全国交流会	11月17日(木)~18日(金)	千葉	西塔代表理事、阿部委員長、佐藤委員出席
中同協 人を生かす経営4委員会合同委員会	11月18日(金)	千葉	阿部委員長・佐藤(啓)委員出席
全国事務局長会議	12月8日(木)~9日(金)		
中同協 第3回幹事会	1月13日(金)~14日(土)		

3)共同求人委員会より

玉津理事より秋の合同企業説明会に向けて準備の共同求人委員会に参加企業の採用担当者にも参加していただき、考え方などの意思統一を図っていくと説明がありました。

4)第6回理事会日程

●日時:10月12日(水)午後3時~午後5時

●会場:山形ビッグウイング

■開会挨拶(阿部秀顕理事)



◎佐藤 修氏

花専科 代表

生花販売

山形支部

同友やまがた10月号(2016年10月1日発行/通巻283号)

From Editor



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp